

マスク着用の考え方の見直し等について

令和5年2月10日 新型コロナウイルス感染症対策本部

内閣官房
Cabinet Secretariat

- 令和5年3月13日以降、個人の主体的な選択を尊重し、着用は個人の判断に委ねることになります。
- 本人の意思に反してマスクの着脱を強いることがないよう、個人の主体的な判断が尊重されるよう、ご配慮をお願いします。

○子どもについては、すこやかな発育・発達の妨げとならないよう配慮することが重要です。
○なお、**感染が大きく拡大している場合には、一時的に場面に応じた適切なマスクの着用を広く呼びかけるなど、より強い感染対策を求めることがあり得ます。**ただし、そのような場合においても、子どものマスク着用については、健康面などへの影響も懸念されており、引き続き、保護者や周りの大人が個々の子どもの体調に十分注意をお願いします。

政府・行政からの強制

個人・団体で自ら考えて行動

マスク着用場面は“自分で考える時代”

自律的感染防御行動

新型コロナウイルス感染症対策

これまで屋外では原則不要、屋内では原則着用としていましたが

令和5年3月13日から

マスク着用は個人の判断が基本となります

ただし、以下のような場合には注意しましょう

周囲の方に、感染を広げないために

マスクを着用しましょう



受診時や医療機関・
高齢者施設などを訪問する時



通勤ラッシュ時など混雑した
電車・バスに乗車する時

ご自身を感染から守るために

マスク着用が効果的です



高齢者



慢性肝臓病
がん
心血管疾患 など

基礎疾患を有する方



妊婦

重症化リスクの高い方が感染拡大時に混雑した場所に行く時

本人の意思に反してマスクの着脱を強いることがないよう、
個人の主体的な判断が尊重されるよう、ご配慮をお願いします

※事業者の判断でマスク着用を求められる場合や従業員がマスクを着用している場合があります

マスク着用が効果的な場面

- 高齢者など重症化リスクの高い方への感染を防ぐため、下記の場面では、**マスクの着用を推奨**します。
- ・医療機関を受診する時
 - ・高齢者など重症化リスクの高い方が多く入院・生活する 医療機関や高齢者施設などへ訪問する時
 - ・通勤ラッシュ時など、混雑した電車やバス（*）に乗車する時（当面の取扱）
- （*）概ね全員の着席が可能であるもの（新幹線、通勤ライナー、高速バス、貸切バス等）を除く。
- 新型コロナウイルス感染症の 流行期に重症化リスクの高い方が混雑した場所に行く時については、感染から自身を守るための対策として**マスクの着用が効果的**です。

症状がある場合など

症状がある方、新型コロナウイルス感染症の検査で陽性となった方、同居する家族に陽性となった方がいる方は、**周囲の方に感染を広げないために、外出を控えて**ください。通院などでやむを得ず外出する時には、人混みは避け、マスクの着用をお願いします。

医療機関や高齢者施設などの対応

○高齢者など重症化リスクの高い方が多く入院・生活する医療機関や高齢者施設などの従事者の方は、**勤務中のマスクの着用を推奨**しています。

事業者における対応

- マスクの着用は個人の判断に委ねられるものではありませんが、事業者が感染対策上又は事業上の理由等により、**利用者又は従業員にマスクの着用を求めることは許容**されます。
- 各業界団体において、「業種別ガイドライン」の見直しを行い、現場や利用者へ周知を行う予定です。

マスク着用の緩和について

- 着用にはエビデンス(科学的根拠)があるが、外すことに関する情報は乏しい
- 感染対策として必要で、類型移行とは別に検討すべきだ
- 緩和は時期尚早
- マスク見直し、拙速な転換は混乱招く
- 着きたい人への配慮も必要

マスク着用のエビデンス

マスク着用により、感染リスクは16%低下し、その差は統計的に有意だった。(76論文の解析)
北京大学の研究 (トランスレーショナル精神医学誌)

すべての研究で、マスク着用政策に関連した発生率の急速かつ大幅な減少が報告されている。
(21論文の解析)

WHO研究者メタ解析 (E臨床医学誌)

4つのマスクの効果

注意) マスクは、できるだけ不織布を使用してください。

1. 飛沫感染予防
2. 口腔内、鼻腔内、気道の加湿効果→せん毛運動が活発になる→ウイルスが感染しにくい
3. 手指についたウイルスが、鼻、口に入るのをブロックする
4. 他の人にうつさない

マスクの着用注意点

感染のリスクと健康被害のリスクを考えバランスを取ることが大事
(臨機応変に対応することが重要)

